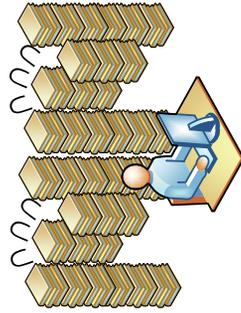


社会資本整備総合交付金業務のシステム化について

○ 平成30年度より、交付金業務について、クラウドサーバーを利用し、申請等の手続きを電子化。

<背景>

- ・ 従来、交付金業務の一連の手続きは、膨大な書類で行っており、地方公共団体、国それぞれにおいて同じ書類を保管。
- ・ 地方公共団体からの事務の合理化等に係る意見や政府における行政手続の電子化の徹底。



<効果>

- ① ペーパーレス化、様式の統一化による事務の合理化
- ② 関係書類一式の体系的管理(入力済みデータの活用)により作業の重複を排除
- ③ 計画内容、執行状況等に係る総覧性の確保